特集　その1

1　亀山地区社協に寄せる

2　亀山地区社協への思い



亀山地区社協に寄せる

安佐北区社会福祉協議会
事務局長　坂本　泉

亀山地区社会福祉協議会創始５０年､誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

平成２８年に事務局長になって初めて赴任したのが安佐北区でした。赴任後すぐに亀山地区社協の総会にお招きいただき、緊張の中でご挨拶をさせていただいたことを思い出します。人生の中での経験や出会いには必ず意味があるといいます。昨年､再び安佐北区に赴任することになり、本当にご縁を感じております。

亀山地区は地域とのつながりを大切に、その時々の地域課題に向き合いながら地域活動に取り組んでこられました。長年にわたって今も継続されている事業がたくさんありますが、これは当たり前のことではなく、これまで活動に関わって来られた多くの方々が、地域の取り組みを大切に継承されてきた長い歴史があるからこそだと思います。

地域での活動を続けていくことには大変なご苦労があると思いますが、これまで積み重ねてこられた活動を時代に合わせて継承していくことができるように、区社協としても、みなさんとともに取り組んでいけたらと思っています。

次の節目に向けた、今後の亀山地区のさらなる発展を心よりお祈りしております。



亀山地区社協に寄せる

広島市亀山地域包括支援センター
センター長　室元　奈津子

亀山地区社会福祉協議会創始５０年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

現在、地域づくりの課題として､『地域包括ケアシステム』の構築が求められています。高齢者の方が住み慣れた場所で必要に応じて医療や福祉サービスを受けることができ、地域の方に支えられながら安心して暮らせる仕組み・地域づくりをおこなう、というものです。

地区社協の皆様が地域のアンテナ役となり、ミニネット・サロン・バンクの各事業などの見守り活動や声かけを通じ、地域の方々の身近な存在として生活・福祉課題や困りごとの早期発見に尽力されています。課題解決のために、行政や安佐北区社協・地域包括支援センターなどの支援者との協力体制も必要となります。日頃より、“ふれあい福祉会議”“合同相談会”“合同勉強会”などを通じ各支援者とも顔の見える関係づくりができているからこそ、迅速な課題解決につながっていると考えています。

広島市亀山地域包括支援センターも“住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま”の実現へ向け、亀山地区社協の皆様とともに歩み続けたいと思っております。



地域と共に歩む５０年、そして未来へ

広島市立亀山小学校
校　長　川口　和郷

亀山地区社会福祉協議会が創始５０年という輝かしい節目を迎えられましたことに、広島市立亀山小学校を代表し、心よりお祝い申し上げます。

昭和５２年の発足以来、半世紀の長きにわたり、設立の理念「地域住民の親睦・福祉の増進を図り、住みよく明るい健全な地域社会をつくる」を掲げ、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりに尽力されてきた歴代会長様をはじめ、役員、地域の皆様のたゆまぬ歩みに、深く敬意を表します。

毎日、子どもたちの登下校を温かく見守ってくださる姿や、学校行事でのご支援は、子どもたちに「地域に守られている」という安心感と、郷土を愛する心を育んでいただいております。

近年、社会情勢は大きく変化しておりますが、地域とのつながり、人と人とのつながりの大切さは時代を超え、世代を超えても変わらず大切なものです。「つながり」はこれからの時代を生きる子どもたちにとって、何よりの支えです。本校も「地域と共にある学校」として、皆様とのつながりをさらに深め、心豊かな亀山っ子の育成に努めてまいります。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



５０年の歩みに感謝して

広島市立亀山中学校
校　長　常井　慎太郎

亀山地区社会福祉協議会が創始５０年という輝かしい節目を迎えられましたことに、心よりお慶び申し上げます。昭和５２年の結成以来、「安心して共に暮らせる、潤いのある支え合いのまち　かめやま」という尊い理念のもと、半世紀もの長きにわたり、歴代会長様をはじめ関係各位、そして地域の皆様が情熱を傾け、手を取り合い築いてこられた歩みに、深甚なる敬意を表します。

本校にとりましても、皆様との歩みは感謝の念に堪えません。特に、「子どもを守ろう」を合言葉に平成１７年から全町内会で取り組んでいただいている登下校の見守り活動や、「地域安全推進隊」による夜間パトロールは、生徒が安心して学びに打ち込める環境の揺るぎない礎となっております。また、活動を通じて交わされる皆様とのつながりは、生徒たちにとって、「共に生きる尊さ」や「思いやりの心」を学ぶ機会であるとともに、健やかな成長を支える大きな力となっております。本校も、地域と共に歩む教育をさらに進め、自ら学び共に育つ、自立した生徒の育成に努めてまいります。この節目を機に、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。



亀山地区社協に寄せる

亀山公民館
館　長　児高　静博

亀山地区社会福祉協議会創始５０年という大きな節目を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。長きにわたり地域福祉の推進にご尽力された役員・会員の皆さまに、深く敬意を表します。

近年は、人口減少や価値観の多様化など地域を取り巻く環境が大きく変化していますが、貴協議会は、見守り活動や居場所づくり、ボランティア育成など、子どもから高齢者まで世代をこえて支え合う活動を熱心に進めてこられ、誰一人取り残さない地域づくりに大きな貢献をされておられます。

亀山公民館も来年（令和９年）、開館５０周年を迎えます。これまで地域の皆さまに支えられてまいりましたが、中でも貴協議会の皆さまには、各種行事・事業の実施や運営委員会への参画など中心的な役割を担っていただいております

これからも、貴協議会の皆さまと連携・協力させていただきながら、つながりの環を広げ、子どもたちの笑顔と高齢者の安心が両立する､魅力ある亀山地区の実現に向けて努めてまいります。

結びに､亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と皆さまのご健勝をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。



半世紀の歩みに敬意を表し、さらなる発展を願って

亀山学区自治会・町内会連絡協議会
事務局長　大下　雅義

亀山地区社会福祉協議会の創始５０年、誠におめでとうございます。

亀山学区自治会町内会連合会を代表いたしまして、心よりお祝い申し上げます。

半世紀という長きにわたり、地域の福祉向上と誰もが安心して暮らせる街づくりのため、多大なるご尽力をいただいてまいりました歴代役員の皆様、ならびに関係者の皆様の深い情熱とご献身に、深く敬意と感謝を申し上げます。

私たちの亀山学区が、時代が変わっても温かく、つながりの強い地域であり続けられるのは、貴協議会が常に住民の心に寄り添い、支え合いの輪を広げてこられたからに他なりません。

私たち自治会町内会連合会も、地域のパートナーとして、次の５０年に向けた歩みを共に進め、さらに魅力ある亀山地域を築いていく所存です。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。



感謝と希望を繋いで

亀山民生区民生委員児童委員協議会
副会長　淺枝　桂子

亀山地区社協創始５０年、誠におめでとうございます。これまでの道のりに深い敬意を表し、今後のご発展をお祈りいたします。

創始の頃は広島県にすら住んでいなかった私が、亀山地区社協と関わりを持ち始めて１２年程になります。その間、諸先輩方に導いて頂きながら、一人暮らし高齢者の花見やバス旅行、二人暮らし高齢者のつどい、要介護者への配食訪問等、数々の行事に参加して地域の方々と交流して参りました。その都度、反省することの方が多いのですが、先日、俳優の杉 良太郎氏の言葉に出会い癒されました。数々の福祉活動を慈悲で行っておられる杉氏は、「福祉はお金がかかる。でも、お金がなければ時間を寄付すればいい。時間もないなら福祉に関わる人へ拍手を送るだけでいい。それも立派な福祉なんです。」背中を押してくれる言葉でした。そして亀山地区社協のこれまでの活動に改めて拍手を送りたいと思います。

最後に亀山地区社協では色々な活動があります。地域の多くの皆様に参加して頂き、共により良い地域活動に貢献し、次の世代へ受け継いでいけるように微力ながら努めてまいります。



亀山地区社協に寄せる

亀山学区体育協会
会　長　迫田　和英

亀山地区社会福祉協議会創始５０年、誠におめでとうございます。

半世紀という長きにわたり、地域の福祉向上と誰もが安心して暮らせるまちづくりの為に尽力されてこられた皆様に、心より敬意を表します。

体育協会としましても、これまで様々な行事を通じて貴協議会と手を取り合い、地域住民の健康増進と親睦を図ってまいりました。スポーツも福祉も、「人と人とのつながり」を育むという点において、その目的を同じくするものと考えております。

特に、老若男女が共に汗を流し、笑顔で交流するスポーツの現場は、地域コミュニティを活性化させる大きな力となります。社会福祉協議会が目指す「支え合いの精神」が、スポーツを通じた「連帯感」と重なり合うことで、亀山地区はより一層、活気ある温かい街へと発展していくことでしょう。

【住んで安全　暮らして安心　絆のまち　かめやま】

この節目を機に、私たち体育協会も、より一層貴協議会との連携を深め、スポーツの力で地域の福祉を側面から支えてまいります。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、役員・関係者の皆様のご健勝を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



創始５０年に寄せて

亀山学区青少年健全育成連絡協議会
会　長　升本　洋二

私が亀山地区社協と関わり始めたのは、亀山青少協会長に就いたことに伴い、理事会・総会に出席したり、献血事業のお手伝い等に参加するようになってからです。多様な事業の展開とオール亀山の組織構成に心を動かされました。

亀山青少協は、亀山地区社協から毎年、助成金をいただいており、自主財源がない中で、ありがたいご配慮に感謝しています。

また、助成目的である亀山地域の児童、生徒の安全確保、非行防止や地域の環境点検等について、地道ながら持続的に実施しなければと思っています。

さらに、当青少協の設置目的の一つとして、学校や地域諸団体との連絡調整や情報共有があり、今後とも亀山地区社協との連携を深める必要があります。

長年、亀山地区社協は、亀山地区福祉団体の中でトップの組織と認識しておりましたが、２年前に「かめやまエルモ（かめやままちづくり協議会）」が地域福祉を代表する組織として設立されました。

しかしながら、亀山地区社協は地域福祉事業の基軸活動を担われており、今後も「かめやまエルモ」の中核として活動されることが望まれています。

亀山地区社協が、今後なお一層ご発展されることを心から願っています。



創始５０年に寄せて

亀山学区子ども会育成連絡協議会
会　長　末廣　一

亀山地区社会福祉協議会　創始５０年の記念すべき佳節を迎えられましたことを、亀山学区子ども会育成協議会を代表いたしまして、心よりお慶び申し上げます。

半世紀という長きにわたり、地域の福祉向上と温かいコミュニティづくりにご尽力されてきた歴代会長をはじめ、関係者の皆様の多大なる情熱とご献身に対し、心より敬意と感謝を表する次第でございます。

貴協議会の皆様には、日頃から子ども会の活動に対しまして、温かいご理解と多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

地区内の世代間交流イベントや地域の見守り活動などは、子どもたちが地域社会の温もりに触れ、思いやりの心を育む大変貴重な機会となっております。

諸先輩方が築き上げられた「地域で子どもを育む」という崇高な精神は、私たち育成協議会にとっても大きな支えであり、活動の原動力です。

時代が激しく移り変わる中にあっても、人と人とのつながりや、地域で支え合う福祉の精神は変わらず重要です。

次の５０年に向けて、次代を担う子どもたちがこの亀山地区に愛着と誇りを持ち、健やかに成長できるよう、今後とも手を取り合い連携のもと、心豊かな地域社会の創造に邁進する所存でございます。

結びに、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご発展と、地域の皆様のご健勝、ご多幸を心より祈念いたしまして、発刊の寄せ言葉といたします。



公衛協と社協　手を取り合って紡ぐ安心の街づくり

亀山学区公衆衛生連絡協議会
会　長　花本　雅基

私たち公衆衛生連絡協議会（公衛協）は設立以来３５年、地域の環境美化や安全を守るために歩みを進めてきました。この歴史のなかで、亀山地区社協の歴代会長である古殿 初さんや若藤さんが築いてこられた地域福祉の基盤には、常に深い敬意を抱いております。

また、各種団体の多くの皆様が、それぞれの立場で地域を支えてくださっていることも大変心強い限りです。

現在、公衛協も道路の草刈りやイノシシ対策などに熱心に取り組んでいますが、これらは住民の安心・安全な暮らし、そして高齢者の憩いの場である「いきいきサロン」などの福祉活動を支える土台でもあります。

「環境を守る公衛協」と「人の心を支える社協」は、いわば車の両輪です。

行政への働きかけも含め、今後も手を取り合いながら、この温かい地域密着の輪を次の世代へ繋いでまいります。



亀山地区社協に寄せる思い

亀山学区防犯組合連合会
会　長　中坊　寛

亀山地区社会福祉協議会創始５０年、誠におめでとうございます。

我らが亀山にとって最も大切なことは、この地域が安全であるということ、そして安心して住み暮らすことのできる地域であるということにつきます。ただ、地域全体の治安というものは一朝一夕に成り立つものではありません。それぞれの自治会や町内会、さらには諸団体が有機的に結びつき、交流していくという確かな仕組みの中で自ずと形作られていくものなのだと思われます。

亀山地区社協では､｢安全で安心な住みよい福祉のまち　かめやま」をスローガンに､日々､様々な福祉活動に取り組んでおられます。その活動の１つ１つが、まさに地域の治安維持の活動そのものなのでありましょう。これからも時流に流されることなく、またおもねることもなく、地道な活動を継続してゆかれることを願ってやみません。

亀山地区社協のこれからの５０年が良き船頭と航路に恵まれて、順風満帆、つつがなき歳月を刻まれてゆきますこと、心よりご祈念申し上げております。



亀山地区社協に寄せる

亀山女性会
会　長　大田　隆子

この度、亀山地区社会福祉協議会が創始５０年を迎えられましたことを、心よりお喜び申し上げます。

亀山地区社協の昭和、平成、令和と移ってきた５０年間の歩みの中で、私が役員として関わってきましたのは、わずか１２年です。平成２６年度から山崎会長の後任として亀山女性会長の任を受けてからとなります。亀山女性会としての社会福祉活動は、会員からの出品による福祉バザー「おゆずり会」の収益を原資として、大田川学園の布団つくり奉仕活動、可部地区の作業所訪問、一人暮らしの会員・家族の介護をされている会員の慰問等の活動でした。これらの活動もコロナウイルスの感染拡大で活動が困難となり、４９年間続けてきた太田川学園の布団つくり奉仕活動が中止、作業所等の訪問・会員への慰問も途絶えてしまいました。

昨今、地域における社会福祉活動は、社会情勢の変化に伴って、大変難しい時代になってきていると感じます。だからこそ、地域の元気の素となっている亀山地区社協の活動が今後も続いていくことを心より願っています。



豪雨災害はいつやってくるかわからない

亀山学区自主防災会連合会
会　長　横田　公荘

この度の亀山地区社協創始５０年記念誌の発行を心からお慶び申し上げます。

私たち亀山学区は、カルガモ、アオサギ、オオサンショウウオなど清流の大毛寺川が流れ、春には桜があちらこちらで満開で、６月にはホタルが飛び交う自然豊かな地域です。ここ数年は大きな災害もなく、防災への危機意識が希薄になっているのではないか？と若干の懸念を抱いています。

振り返ってみると、１２年前、平成２６年（２０１４年）８月２０日、西日本豪雨災害（広島豪雨災害）が発生し、７７人の犠牲者が出ました。近くの可部地域においても、３名の方が亡くなるというとても悲惨な災害となりました。この災害を機に「線状降水帯」という言葉が生まれましたが、可部地区よりもう数百メートル、亀山地区にずれていたら…と思うと、背筋が凍る思いをせざるを得ません。

私たちは、このことを決して風化させることなく後世に伝え、現代世代に生かす使命があるものと思っています。

～ 豪雨災害はいつやってくるかわからない ～　亀山地区社協と連携を深め、引き続き、楽しく笑顔あふれる地域づくりに邁進していきます。



亀山地区社協への思い

広島県議会
元議員　山崎　正博

亀山地区社会福祉協議会におかれましては、今年度創始５０年を迎えるにあたり、記念事業として記念誌を発行されますことは、真におめでたいことと存じ、お慶び申し上げます。

特に高齢者（老人会会員）の皆さんが、お互いに、健康で長生きされていることを喜び合っていらっしゃる、お元気な姿に接し、とても嬉しく感じております。心からお慶び申し上げます。

この心の喜びを後世に残すことも大切なことだとの思いから、記念誌を発刊することに取組まれたものと思います。ひとくちに５０周年と申しますが、半世紀に亘り、お世話なされた、初代会長さんをはじめ、歴代の会長、現会長の大畠正彦様、及び、各役員さんのご尽力、そして、会員諸氏の心の温まるご協力で現在があることに、心から敬意と感謝の意を表します。

いつまでもお元気な笑顔で!!の出逢いを楽しみにしています。



共に地域を守る

安佐北消防団亀山分団
元分団長　大田　哲文

亀山地区社会福祉協議会創始５０年、誠におめでとうございます。消防団を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。貴協議会におかれましては、設立以来、地域福祉の要として、高齢者の見守り活動や触れ合い交流事業、子育て支援ボランティア活動の推進など、地域に根ざした幅広い活動を通じて、「安心して暮らせるまち・共に暮らせるまち・支えあえるまち・潤いのあるまち」の実現に向けて、誰もが安心して暮らせるまちづくりに大きく貢献され、こうした日々の積み重ねが、地域の絆を深め、お互いに助け合える温かい地域社会につながっているのも、歴代役員の方々をはじめ、ボランティアや関係各位の長年にわたる献身的なご努力に対し、深く敬意を表します。

我々消防団と社会福祉協議会は、「防災」と「福祉」と、活動の場は異なりますが、「地域住民の命と暮らしを守る」という共通の使命を担うパートナーです。近年の災害の激甚化や少子高齢化や地域コミュニティの変化など、地域を取り巻く環境も大きく変化しておりますが、このような時代だからこそ、人と人とのつながりの大切さがより一層求められていると感じております。今後も地域のためにお互いに連携し、支え合いながら安心して暮らせる亀山のまちづくりに努めてまいりたいと思います。皆様方の福祉の現場で培われた支え合いの精神は、我々消防団が掲げる「郷土愛護」の精神とも深く共鳴するものであり、地域の安全・安心を守るため、貴協議会と共に歩んでいけることを心強く感じております。

結びに、貴協議会の今後ますますのご発展と、関係者の皆様のご多幸を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



お祝いの言葉

亀山学区体育協会
元会長　杉野　俊昭

このたび、亀山地区社会福祉協議会は創始５０年という記念すべき節目を迎えられました。何はさておき、このことに対し心よりお祝い申し上げます。

思い起こせば、半世紀前は、私たちの亀山地区は宅地造成工事があちこちで行われていましたが、今ほどは住宅も建て込んでおらず、「隔世の感」があります。

当社会福祉協議会は、昭和５２年（１９７７年）に、初代会長の岩田定人氏のもとに当時の多くの諸先輩・関係者の並々ならぬご尽力により発足されたこと、今も鮮明に記憶しております。私が属していた「体育協会」も同様ですが、５０年間歩んできた道のりは、決して平坦なものではありません。どの瞬間にも、誰かの熱い情熱や温かい想いがあり、誰かの支えてくれる手がありました。　だからこそ５０年間、今日この日まで、皆で歩み続けることができたのだと、今、深く感じているところです。

現在の「大畠正彦」会長のもとで、各種実施される様々な活動に、携わってこられた歴代の関係者の方々や現在の役員の方々に対し、心より感謝申し上げますとともに、改めて敬意を表する次第です。

これからも、輝かしい未来のために地区内の自治連を中心とし、関係諸団体等とより一層の連携を深めていただき、当社会福祉協議会が益々ご発展されますようご祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。



小さな「ありがとう」の一言のあたたかさ

亀山女性会
元会長　山崎　千代子

亀山社会福祉協議会創始５０年を迎えられ、誠におめでとうございます。

幼児からお年寄りまで半世紀にわたり、地域福祉に携わってこられた皆様に、敬意と感謝を表します。

近年少子・高齢化も急激に進み、地域で子ども達の姿を見かけるのも学校の登下校のみのような気がします。唯一、子ども達と話ができるのは、下校時のパトロールの時のみです。

ある日、雪がちらつき寒い日、あまりにも寒いので手をつないで帰りました。「手をつなぐと暖かいネ」「そうだネ」と会話して帰り、別れ際に「今日はありがとうございました」の言葉に、「いいえ」と思わず言葉が出て、本当に温かい気持ちになりました。小さな「ありがとう」言葉がこんなにも温かく穏やかな気持ちにしてくれる、今更ながら感動したのです。亀山社協も「あいさつ」を交わす運動が提唱された時がありました。小さな挨拶から大きな挨拶の輪が広がり、ますます暮らしやすい、温かい地域になることを心から願っております。



地域とともに歩んだ軌跡と、社会福祉協議会への願い

亀山学区自治会・町内会連絡協議会
元会長　山本　幸

気の置けない仲間と昔を振り返れば、そこには常に地域のために奔走した日々がありました。かつて担った地元の様々な役職、汗を流した田畑や山林の維持管理、そして皆の生活を支える道路や公園の整備。

私たちが交わす他愛のない世間話の一つひとつに、この街の発展を支えてきたという自負と、地域への深い愛情が刻まれています。

時代の変化とともに地域の課題も移り変わりますが、住民一人ひとりが安心して暮らせる環境づくりの中心には、いつも社会福祉協議会（社協）の存在がありました。

社協は、私たち住民の「支え合いたい」という思いを形にし、地域コミュニティを繋ぎ止める大切な砦です。

これまでの地域貢献の歴史を次の世代へと確かに引き継ぎ、これからも誰もが孤立せず、温かい絆を感じられる街であり続けてほしい。

私たちのささやかな歩みが、これからの社協の活動、そして地域の明るい未来を照らす一助となることを切に願っています。



“絆”

亀山民生区民生委員児童委員協議会
元会長　中坊　睦芽

亀山地区社会協議会が創始５０年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。

「住んで安全　暮らして安心　絆のまち かめやま」のスローガン、また「出来ることから小さな福祉を亀山の地から」の実施計画のもとに、民生委員児童委員は調査部として活動してきました。いろいろな行事案内を配布し、行事に参画しました。地域の方を見守りしながら話をすることで、寄り添い、少しずつ“絆”を深めることができました。それから、地域の各種団体の方との交流もでき、繋がることで委員活動に役立ちました。

また、広報誌かめやま２１号の米寿のお祝いに祖母が掲載されております。その人となりが簡潔に表されており、地域の方にも見て頂いたと思い、嬉しいことでした。私個人としては地域の方と共に充実した委員活動ができましたこと、ありがたく感謝しております。

最後になりましたが、亀山地区社会福祉協議会の今後ますますのご活躍、ご発展を心より祈念申し上げまして、お祝いの言葉とさせて頂きます。



青少年が心豊かに過ごせる地域をめざして

亀山学区青少年健全育成連絡協議会
元会長　清見　邦昭

亀山地区社協の創始５０年の記念誌を発刊されましたことに、心よりお慶び申しあげます。

昭和５２年の設立以来５０年、とどまることなく地域社会の福祉の向上のために多大な貢献をしてこられましたことに深く敬意と感謝を申し上げます。

社協の幅広い活動の中で、児童・生徒の心を育むための福祉教育の推進も１つの活動の柱となっておられると思いますが、私は青少年健全育成協議会の役員の一員として、平成８年より２１年間勤めさせていただきましたが、その間、社協様からは活動資金の援助、いろいろな行事に対しても御参加、また御助言もいただきました。

青少協の数ある行事の中で、特に夏休み中に行いました夜間パトロールについては、地域役員の方、民生児童委員の方々、多数のご協力をいただき、その活動は長年にわたっていることもあり、広島市より市長賞を授かったところです。

青少年の健全育成は、学校、地域、また保護者とのつながりが大変重要です。今後とも青少年が心豊かに、そして安心して過ごせる社会をめざして、今後一層その活動を進めていただきますようお願い申し上げます。

最後に、亀山地区社会福祉協議会の益々のご発展を祈念申し上げます。

